

市長への手紙

－市民の意見箱－

2026年7月分

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
駅前北通～夕顔瀬町 付近の野鳥について	盛岡駅前北通から夕顔瀬町にかけて、街路樹や電線にすごい数の野鳥がおり、辺りの歩道はフンや羽毛が落ちていて、臭いが酷いです。また、鳴き声もけたたましく、電車の音よりもうるさいこともあります。 野生の動物相手なので、できることは限られていると思いますが、何か対策は取れないのでしょうか。	御意見いただきましたムクドリの群れにつきましては、同様の御相談が複数寄せられており、市からも、土地の占有者・管理者に対し対応を依頼しているところです。 ムクドリは、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」により保護されている野生鳥獣であるため、主な対策としては、追い払いや樹木の剪定などにより、ねぐらや休息場所として利用しにくい環境を整備することが考えられます。 市といたしましても、引き続き状況を注視するとともに、必要に応じて関係者と情報共有を図ってまいりますので、何とぞ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。	環境部 環境企画課
クマ対策について	クマ出没情報が市や県から送られてきますが、「気を付けてください」だけで、具体的な対策が見えません。	クマが出没した際には、原則として岩手県の方針に基づき、住民と対応従事者の安全を確保しつつ山林の方面への追払いにより対応しており、個体を追い払うことによって住民等に危害が及ぶ可能性がある場合には、罠、銃器及び麻酔を用いた捕獲方法のうち、出没地点周辺の状況等を踏まえ、最も適した方法により捕獲することとしています。また、市街地に出没した個体は、移動経路の学習による市街地への再出没の蓋然性が高いことから、当該個体を捕獲した際には、原則として駆除することとしております（令和7年度盛岡市有害捕獲の捕獲実績：122頭）。 現在盛岡市では、市内各所でのクマの目撃情報に対し、現地確認、周辺パトロールと巡回広報、市民への情報発信を行っており、クマを確認した場合は、市民の安全確保を最優先に、警察、鳥獣被害対策実施隊員その他関係機関と緊密に連携して、捕獲の実施に取り組んでいるところです。市といたしましては、市民の生命、身体、財産を守ることに万全を期すため、出没情報への対応を最優先に、職員一丸となり間断なく取り組んでおります。 また、クマ等による被害を防止するために、これまでの誘因物の除去などの取組のほか、草刈りなどによる緩衝帯の整備、クマの餌場となる生息環境の改善、そして電気柵などの物理的対策など、人とクマの共生に向けた取組を進めているとともに、有害鳥獣対策の原則である「捕まえる」・「守る」・「寄せ付けない」の3つの活動を、部局横断的に推進してまいります。	環境部 環境企画課

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
多様性と人権教育について	多様性は異なる人々を尊重し受け入れることだと思いますが、今日では自分基準や自分本位を社会に広めてはいないか、不安や不満があります。 多様性の尊重とは、自分らしさを他者に押しつけることではないと思うので、以下の三つの視点が必要ではないでしょうか。 ・視点１：迷惑の多様性 社会には多様な人がいます。愛煙家もいれば、嫌煙家もいる。タトゥーや奇抜なおしゃれの愛好者もいれば、嫌悪する者もいる。騒がしいのが好きな人もいれば、静かなのが好きな人もいる。 自分と他者で幸福の形、迷惑の基準は異なっています。多様性を尊重するには、迷惑の多様性を知ってほしいです。 ・視点２：思いやりは双方向 多様な社会は思いやりが大切ですが、その思いやりは一方向ではないか、よく問いかけてほしいです。 愛煙家は非喫煙者の幸福を、タトゥーや奇抜なおしゃれの愛好者はアンチの幸福を、騒がしいのが好きな人は苦手な人の幸福を、思いやる。逆もまた然りです。 個人主義では、自分と同じくらい他者の権利も尊重します。一方向ではない、思いやりは双方向を求めています。 ・視点３：自分本位と自他尊重 多様な社会（ダイバーシティ）に広まってほしいのは、自分本位ではなく、自他尊重です。自分と他者、両方を大事にすることです。 多様性を尊重する社会では、個性・自分らしさはポジティブであり、ネガティブな自分本位・誰かの御迷惑と結びつかなくなったと感じています。 みんなが幸福に暮らすため、学校や社会で、自分本位と自他尊重をテーマに、よく話し合ってください。 多様性（自分らしさ）を尊重する社会において、あえて自分本位と向き合ってください。多様性の尊重とは、自分らしさを他者に押しつける事ではないと思います。 個人尊重と幸福追求権（憲法13条）を行使する上で、「迷惑の多様性」「思いやりは双方向」「自分本位と自他尊重」は、学校での人権教育や住民への啓発活動で、是非とも考えてほしい視点です。	<学校での人権教育について> 盛岡市におきましては、「一人一人の人権を尊重し、共に生きる社会の実現」を目指し、いじめ防止や多様性の尊重、男女共同参画、多文化共生、情報モラル教育等を実施しております。 今後も、いただいた御意見を参考とさせていただき、多様な価値観を尊重する意識を高めるとともに、自他尊重の精神や他人を思いやる心の育成に努めてまいります。 <住民への啓発活動について> 盛岡市では、お互いを理解しながら個人が尊重される社会の実現に向け、人権意識の向上や相互理解の促進に取り組んでおります。具体的には、盛岡人権擁護委員協議会と連携した人権啓発事業の実施や、憲法記念講演会の開催などを通じて、人権啓発に努めております。 いただきました御意見につきましては、今後の人権啓発事業の実施に当たっての参考とさせていただきます。	教育委員会 学校教育課 総務部 総務課

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
まちづくり懇談会の状況について	まちづくり懇談会で市長から市政運営方針の説明がありましたが、いくつか気になる点がありました。	①ビジョン及び数値目標の掲載について 総合計画は、本市が取り組む幅広い施策の方向性を総括的にお示しするものであることから、他の地方自治体の総合計画と共通する内容も多くなっております。	市長公室 企画調整課
	①ビジョンとしては総花的で、他県を含めて27万人都市ではほぼ似たような内容ではと感じます。「令和８年度の市政運営」のパンフレットを読むと、各目標は文言だけで、数値目標は掲載されていません。一般企業だと事業目標と数字はセットで利害関係者に説明すると思います。数字を使わないと後日、目標をどう評価するのかの指針がないので、数値を掲載した方がいいと思います。	一方で、各施策における具体的な事業は、本市の現状や課題を踏まえた上で実施しているものであり、こうした個別の取組において、本市の特色や独自性が現れているものと認識しております。	
	②広報もりおかに別刷りでいいので、市政運営の進捗結果について、見込みでもいいので、年度末に数字を使った資料を市民に向けて公表してもらいたいです。進捗の状況が見えると思うので、市民が市政運営に関心を深めることはとても大切だと思います。	今回のパンフレットの作成に当たりましては、数値的な目標や予算額を含め、どんな情報を載せるのかについて検討を重ねました。	市長公室 広聴広報課
	③今年も15地区でもまちづくり懇談会が開催されていますが、他地区ではどんな地域課題があるかと日ごろ思います。懇談事項くらいでいいので、ホームページなどで公表してほしいです。	その中で、記載できる情報内容に限りがあることから、これからの盛岡について、大きな目指す方向を分かりやすくお伝えするとともに、今行っていること、これから行おうとしていることをできるだけ丁寧に市民の皆さんにお伝えすることが、まずは第一歩だと考え、今回の内容としております。	
		今後、内容の見直しの機会を捉えて、皆様からの御見をお聞きしながら、より分かりやすくお伝えできる内容について検討してまいります。	
		②「広報もりおか」での公表について 市政運営の進捗状況につきましては、総合計画の実施計画において、各取組の指標の推移などをお示ししており、市のホームページで御覧いただけます。また、行政評価によって総合計画の進行管理を行っており、その結果につきましても、市のホームページに掲載しております。	市長公室 企画調整課
		御提案のありました「広報もりおか」への掲載につきましては、市民の皆様に市政運営への関心を深めていただくことは、市民の皆様と共にまちづくりを進める上で大切な視点であることから、今後の情報発信や開かれた市政運営の在り方を検討する際の参考といたします。	市長公室 広聴広報課
		③懇談事項の公表について まちづくり懇談会の開催結果及び各地区の懇談事項については、年度ごとに市ホームページへ掲載しておりますので、下記リンクから御覧いただけます。 https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/kondankai/index.html	

市長への手紙

－市民の意見箱－

2026年7月分

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
市税の使い方について	省エネエアコン買替えキャンペーンのように、特定の人だけを対象とした補助金の出し方はするべきではないと思います。税金はもう少し慎重に使ってほしいです。	省エネエアコン買替えキャンペーン（省エネエアコン導入促進事業）については、内閣府がエネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するために創設した「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用しているもので、省エネ目標基準値を満たすエアコンの購入を促進することにより、市民の電気料金を削減し、家計への経済的負担を軽減するとともに、家庭における熱中症対策と市域の温室効果ガス排出量の削減を目的として実施する事業でありますので、御理解いただきますようお願いいたします。 また、市が取り扱うお金（公金）につきましては、法令等を遵守するとともに、その必要性や効果を十分に検討しながら、適正かつ効率的・効果的な執行に努めてまいります。	環境部 環境企画課
マイナンバーカードの更新手続きについて	都南総合支所でマイナンバーカードを更新する際、パソコンがカウンターの上にあり、車いすの人には見えづらいと思いました。車いすの人も利用しやすくなるよう、低いテーブルを用意するなどの対策をしてはいかがでしょうか。	この度は、マイナンバーカードの更新手続きの際に、御不便をお掛けしましたことをおわび申し上げます。 窓口で御利用いただく手続き用パソコンは画面の角度を利用される方に合わせて調整できる仕様となっております。 しかしながら、その旨の御案内が十分でなかったため、車椅子を御利用のお客様にとって画面が見えにくく、操作しづらい状況となってしまいました。 御不便をお掛けしましたことを重ねておわび申し上げます。 今後は、車椅子を御利用の方をはじめ、お客様それぞれの状況に応じて職員が適切に御案内するとともに、必要に応じて操作のお手伝いを行うなど、より利用しやすい窓口対応に努めてまいります。 貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございました。	市民部 都南総合支所
ＩＧＲ新駅について	玉山地域の過疎化を食い止める切り札は、ＩＧＲ新駅を造ることだと思います。地域住民や観光客の利便性も良くなると思うので、玉山総合事務所、啄木記念館、道の駅もりおか渋民「たみっと」への最寄り駅となる新駅を下田地区に整備してほしいです。	ＩＧＲ下田駅設置事業は、平成18年の盛岡市と玉山村との合併時に策定した新市建設計画及び盛岡市総合計画（令和７年度～令和16年度）に位置付けられている事業であり、玉山地域における公共交通の利便性向上や周辺施設へのアクセス性向上に加え、自家用車からの転換による渋滞緩和などを通じて、地域の活性化に寄与する効果が期待されるものと考えております。 しかしながら、市の厳しい財政状況や資材高騰等の影響もあり、具体的な事業化の見通しが立たない状況にありますことから、引き続き、ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社や地域の皆様との意見交換を行いながら、今後の進め方を検討してまいります。	建設部 交通政策課
都南分庁舎の駐車場について	主なご意見・ご回答（令和６年度）の「令和６年６月分」で職員の駐車を認めておりますが、市の財産を無料で使用することは個人への利益供与に当たらないでしょうか。 ４月から市施設使用料金が値上げされたので、市職員からも駐車料金を徴収し、少しでも市の財政向上に努めたほうがいいと思います。	都南分庁舎に勤務する職員の施設等への駐車につきましては、公共交通機関の利用による通勤手段が限られる場合などにおいて、来庁者への配慮を前提として、届出により駐車を認めており、他の施設と同様に駐車料金は徴収しておりません。料金の徴収につきましては、全庁的な対応として検討してまいります。	市民部 都南総合支所

市長への手紙

－市民の意見箱－

2026年7月分

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
月が丘周辺の国分通りの道路整備について	この道路は小学校や高校が近い通学路で、特に高校の生徒は毎日のように徒歩や自転車でこの道を利用していますが、路側帯がほぼないため、自転車は自動車の横すれすれの場所を走るしかない状態に見受けられます。また、交通量もかなり多いため、自転車と自動車、双方の運転手が毎日恐怖を感じていると思います。 そして車道の横はマンホール部分の凹みがあり、自転車には危険ですし、歩道は道幅が狭く傾斜があるので、歩いてつまづいたり、車いすでの通行も大変だと思っています。	御要望の市道青山三丁目月が丘三丁目線（通称「国分通り」）につきましては、道路拡幅や歩道改良等の整備は、用地買収等に伴い、住民の皆様の生活に多大な影響を及ぼすことや多額の事業費を要することから、早期の事業化が困難な状況でありますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。 また、道路の補修や安全対策につきましては、限られた予算の中で対応している状況にあり、事故等につながる危険性の高い箇所から優先的に補修を行っております。引き続き、道路の安全確保に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いします。 今後も、道路パトロールにより現地確認を行ってまいります。舗装の穴ぼこやマンホールの破損などを発見した場合は、道路管理課維持係（電話019-613-8543）へ情報提供いただきますようお願いいたします。	建設部 道路管理課 道路建設課